



## 藤原 清悦

一般社団法人東北経済連合会 常任政策議員  
環日本海経済交流委員会副委員長

### 「静かな秋」と「賑やかな秋」

紅葉の季節、澄んだ空と豊かな実りとともに、私どもの地元秋田県は1年の内で最も穏やかな時期を迎えます。しかし、今年はJRグループと県内の自治体、事業者が連携しての大型観光企画「秋田デスティネーションキャンペーン」が開催されたこともあり、10月から11月にかけて、県内至る処大勢の観光客で賑わいました。普段の「静かな秋」も風趣があってよいものですが、表通りが人々の歓声でさんざめく今年のような「賑やかな秋」もまた格別だったと、今、振り返って改めてそう思います。

期間中、観光客に紛れて街を歩くと、思い思いの方角へ向かう人波にも何やら濃淡のあることに気付きました。地元お薦めの観光名所には期待したほど人々の足が向かず、逆に、私どもが見慣れてやや関心の薄れがちになった地域の祭りや伝統芸能の実演会場、郷土料理の店等が結構な賑わいをみせています。日暮れ時に「きりたんぼ鍋でイッパイ」できる小料理店では、当地では珍しい空席待ちをする人の列さえみられました。近頃よく聞くように、風光明媚な場所への物見遊山的なものから、地域の特色ある文化や伝統をじっくり体験・味わう形態へと、観光の在り様が確かに変わりつつあるようです。

「特色ある文化や伝統」ということでは、秋田県を含め東北地方は全国でも指折りの地域でありましょう。産業や経済の面では、残念ながら中央の諸地方に一步譲る部分のあることを否めませんが、食文化は言うに及ばず、祭りや伝統行事、芸能、民謡、民話等々、「地域文化」に関しては当地方が他にもまして豊穡な土地柄であり、それは上記、秋田の「きりたんぼ」のほか各県自慢の「夏祭り」や有名な「遠野物語」などの例を引くまでもなく、誰しもが認めるところと思われまます。

これらは私どもが祖先から受け継いだ地域資産であるばかりでなく、厳しい気候風土と苦しい生活の中で営々と培われてきた、素朴な土の匂いのする、また多彩で懐の深い国全体の財産ともいえるものです。先の東日本大震災の折には、困難な環境下、こうした祭りや伝統行事の敢行で地域の絆を確かめあえたことが、被災地の人々にとって何より元気を取り戻す力になったとも聞きました。私どもは、今一度この特色ある地元文化の価値を見直すとともに、全東北的見地から産業政策等への一層の援用に努めることで、震災からの復興面はもとより、ひいては観光推進や事業開拓など地域振興面で新たな境地を拓くことも、可能になるのではないのでしょうか。

東北の未来を思う時、もともとの「静かな秋」に加え、今後は「賑やかな秋」という一面も地域の普段の風景になればと、欲深に願わずにいられません。

(株式会社秋田銀行相談役・ふじわら せいえつ)